



vol.11



WEB



Facebook

発行：佐賀県農産課

<http://www.pref.saga.lg.jp/list00069.html>



JAさがみどり地区  
施設胡瓜部会  
田代了三さん(武雄市)

## 徹底した環境管理で収量を大幅アップ 設備投資も積極的に、キュウリ生産をけん引



### キュウリの環境に細心の注意

ビニールハウスの中に入ると、まるで室内プールに来たような空気に包まれました。それもそのはず。「キュウリには湿度が大事なんで、ハウス内は湿度80%を切らないようになっています」と武雄市の田代了三さん。就農17年目で、10aあたりの収量は、佐賀県平均を大きく超える30tを誇りますが、「佐賀県のトップは40tなので、あんまり自慢できることじゃなかです」と、本人はいたって謙虚です。

しかし話を伺っていると、キュウリへの熱い思いがわかります。液晶モニターに表示されたハウス内の温度や湿度、炭酸ガス濃度のグラフを見ながら、「キュウリの葉が茂っていると自分で蒸散するけど、茂ってないと蒸散できないから、手を加え湿度を上げます。炭酸ガス濃度は、光合成が活発だと減るので機械で増やす。それを繰り返しているからグラフがギザギザになっとるわけです」。コンピューター制御ですが、管理はあくまでも人間の仕事。元気なおいしいキュウリがたくさん育つよう、ハウス内の環境に常に細心の注意を払っています。

裏面へ続く・・・

### TOPICS



### 東京農業大学の学生を県内農家で受入

佐賀県では平成28年度から東京農業大学の学生を対象としたインターンシップの受入を行っています(平成28年度は計11名の学生を受入)。今年度も夏期に6名、冬期(平成30年2/26～3/2)に3名を受け入れました。インターンシップは、受け入れ側にとっても刺激になるもの。受入が可能な方は、県農産課にご連絡ください。(☎0952-25-7118)



## 多くの人に支えられ、表彰されるほどに

就農はキュウリ生産者だったお父さんの他界がきっかけ。教えるを受けることのないまま就農した田代さんを助けてくれたのが、師匠の山口仁司さんです。「毎日来て、今日はこれ、今日はこっちをなささい、と教えてくれました」。ところが2年目は、師匠も毎日来るわけにはいきません。「一人になった途端、全然ダメになって」。理由は、年によって天候は違うのに、なにもわからず一年目と同じやり方をしていたからでした。そんな失敗をしながらも、「仁司さんのおかげで毎日楽しかった」と話します。

転機は、思い切って設備を一新したことでした。「親父から受け継いだビニールハウスはボロボロ。張り替えてがんばるか、辞めるかという状況になりました。その時、仁司さんや武雄市内の方はもちろんそれ以外の地区からも人が来てくれて、一緒に考えてくれたとです。ほかにも辛いことがあった時期で、逆にそれが、もう一回やってやろう、という気持ちにさせてくれました」。借金をしてハウスの被覆資材も張り替え、環境制御を行う設備も導入。それによって収量が増え、予定より早く返済できたことも自信につながりました。2017年には、第41回佐賀県野菜生産改善共進会で農林水産大臣賞を受賞。支えてくれた人たちへの感謝の気持ちも忘れない田代さんは、今度は自分が人を支えたいと、若手生産者約20人が参加する「了三会」で後輩の育成にも力を入れています。

もっと詳しいお話はwebサイトをチェック！



## アンケートにお答えください！

「SAGA アグリ之星」は、サイトとフリーペーパーで、次世代の佐賀農業を担う人材をご紹介します。今回のインタビューに関する感想や、佐賀の農業への思い、また、フリーペーパーやサイトに掲載する佐賀の農業情報や、農業に従事している人について、どんなことを知りたいかなどのご要望をお寄せください。

アンケートは、「SAGA アグリ之星」サイトで、スマートフォンからお答えいただけます。右側のQRコードからアクセスしてください！



SAGAアグリ之星  
アンケートページ